

ワーク・ライフ・バランスを考えた環境づくり にかかる取組

-小学校休業期間中の学童保育の実施，研究支援員の配置-

令和3年12月8日



広島大学

本発表の構成

1. 小学校休業期間中の学童保育の実施

- 1-1. 学童保育の概要
- 1-2. 学童保育の実施実績
- 1-3. 実施体制
- 1-4. 開設期間と1日のスケジュール
- 1-5. 令和2年度における開設実績
- 1-6. 小学校一斉休校実施に伴う臨時開設

2. 研究支援員の配置

- 2-1. 研究支援員制度の概要1
- 2-2. 研究支援員制度の概要2
- 2-3. 支援内容と支援実績
- 2-4. 制度利用者の声
- 2-5. 研究支援員の声

1. 小学校休業期間中の学童保育の実施

1-1. 学童保育の概要

【設置目的】

本学に勤務する職員の子のうち、小学校の長期休業中において、昼間に保護者が就業、介護等により家庭にいないことが常態となる小学生の保育を行うことにより、職員の就業及び家庭生活の両立を支援することを目的とする。

【利用対象者】

広島大学に勤務する教職員（契約職員・非常勤職員含む）

【対象児童】

昼間に保護者が就業、介護等により家庭にいないことが常態となる、小学1年生～6年生

【定員】

東広島地区……………20名程度

広島地区……………30名程度

1-2. 学童保育実施実績

東広島地区

平成20年度から試行を開始し、平成22年度から規則を制定し実施

広島地区

平成23年度から試行を開始し、平成26年度から実施

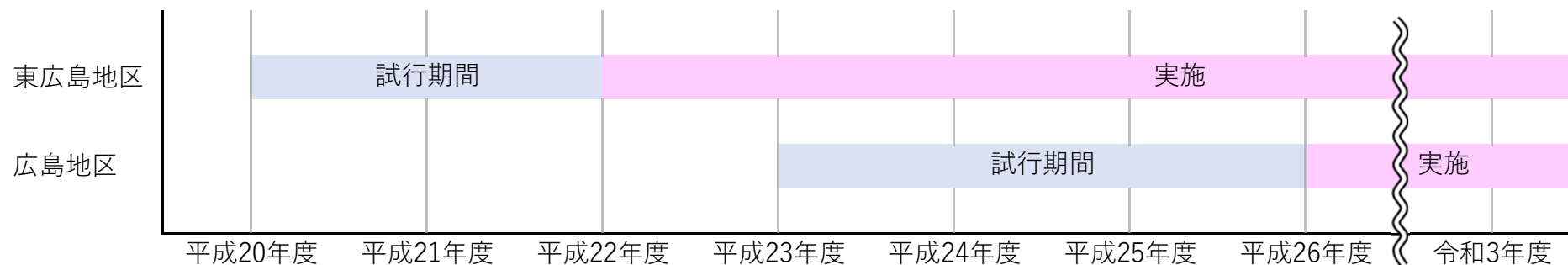


Figure1. 保育実績

長期に渡る実施実績を持っている

1-3. 実施体制

実施にあたっては学童指導員及び学童サポーターを配置(広島大学子どもクラブ規則第9条第2項及び第3項)。

学童指導員……留守家庭児童の保育及び学童サポーターの指導業務に従事
学童サポーター……学童指導員の補助業務に従事

本学では業務委託により実施

業者との契約の中で、学童サポーターについては本学の学生の教育・就学支援の観点から、できる限り本学の学生を雇用することとしている。学童サポーターの学内募集は本学の財務・総務室人事部福利厚生グループが実施。

学生参加による学生への教育的効果

1-4. 開設期間と1日のスケジュール

【開設期間】

夏季 7月20日前後～8月下旬

冬季 12月下旬～1月上旬

春季 3月下旬～4月上旬

【1日のスケジュール】

登校～10:00 学習

10:00～12:00 自由時間

12:00～13:00 昼食

13:00～14:00 読書・学習

14:00～15:00 自由時間

15:00～ おやつ

～19:00 自由時間・片付け・随時下校



Figure2. ガラスの模様付け体験

学内施設等での体験学習も随時実施

1-5. 令和2年度における開設実績

【令和2年度の開設実績】

Table. 1 令和2年度学童保育実施期間及び保育実績

開設時期	東広島地区		広島地区	
	開設日	保育実績	開設日	保育実績
夏季	8月3日 ~ 8月7日	12	8月11日 ~ 8月21日	26
冬季	12月28日 ~ 1月5日	6	12月28日 ~ 1月4日	16
春季	3月26日 ~ 4月7日	19	3月26日 ~ 4月7日	34
臨時1(共通テスト) [※]	1月16日 ~ 1月17日	3	申込者無しのため非開設	
臨時2(一斉休業)	4月16日 ~ 4月21日	9	4月15日 ~ 6月5日	19

※ 大学入学共通テスト実施に伴う臨時開設を除き、平日のみ開設

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大による小学校一斉休校実施に伴い、東広島地区及び広島地区において、臨時開設

1-6.小学校一斉休校実施に伴う臨時開設

当初は、業者への業務委託の予定

→ 保育士不足のため業者対応がかなわない

→ 広島大学の教職員が学童保育を実施

学童指導員は附属学校教諭，附属幼稚園教諭，保育士資格や教員免許を所持する職員が担当し，学童サポーターはその他の職員が担当するなどして対応

部署の垣根を超え，全学的な協力体制をとることによって実施

2. 研究支援員の配置

2-1.研究支援員制度の概要1

【目的】

本学に所属する研究者(性別を問わず)が、妊娠・育児・介護等により研究時間の確保が困難になった際に、研究者の指示の下に研究補助業務に従事する研究支援員を配置し、研究とライフイベントの両立を推進することを目的として平成29年度から支援を開始。

【利用対象者】

本学と雇用契約を結び、本学を主たる研究の場としている大学教員(教授, 准教授, 講師, 助教, 助手)及びフルタイム勤務の教育研究系契約職員(特任教員, 寄附講座等教員, 病院助教, 研究員, 特別研究員, 病院診療医及び共同研究講座教員に限る。)のうち, 申請要件をすべて満たす者。

2-2.研究支援員制度の概要2

【申請要件】

1. 妊娠中の者，12歳に達する日以後最初の3月31日までの同居の子を養育している者又は介護認定(要支援認定を含む。)を受けている一親等以内の同居の親族を介護している者
2. 配偶者がフルタイムで勤務している者，単身者，又は配偶者のいない者
3. 産前産後休暇，育児休業，介護休業，その他休業中でない者又は休職中でない者
(ただし、配偶者のいる者にあつては，配偶者も同様とする。)
4. 年間500万円以上の外部資金の採択を受けていない者

※ 申請者が男性の場合は，配偶者が大学，大学共同利用機関又は独立行政法人等で研究者としてフルタイムで勤務している者

2-3. 支援内容と支援実績

【支援内容】

文献収集, 文献調査補助, インタビュー調査補助, 資料整理, 実験補助(材料分析, 測定, Real time PCR等), 実験使用器具の洗浄, データ入力, データ分析, 解析, 資料作成及び研究成果の整理 等

1日当たり7時間以内とし, 1週間当たり10時間以内

【支援実績】

Table2. 研究支援実績

支援年度	男性	女性	計
令和2年度	1	9	10
令和元年度	2	25	27
平成30年度	2	27	29
平成29年度	1	12	13

2-4. 制度利用者の声

【令和2年度 制度利用者の声(抜粋)】

- ・ 学内講義, 演習, 教育活動の負担が大きく, 研究に着手できる時間は大変限られているが, 研究支援員を配置していただいたおかげで, 助成金の申請や学術論文投稿準備が進み, 研究と教育を両立することができた。(医系教員)
- ・ 入力作業のような, 単純ではあるが研究を遂行する上で重要であり, 時間が掛かる作業を支援してもらうことができた。また, 他の人の意見を聞く機会にもなり, 参考になった。(文系教員)
- ・ ルーチンワークを担当してもらったおかげで研究アイデアの構想や報告書, 論文作成に時間をより多く使うことができ, 結果として研究がより進展した。本年度は評価会で審査に合格し事業が継続できることになった。(理系教員)
- ・ 支援によりデータ収集から解析結果を得るまでの時間が短縮でき, 学会での公表や投稿論文の作成などの, 研究成果公表のための作業が可能になった。(医系教員)
- ・ 今まで手が付けられていなかったデータを研究支援員のおかげで整理された形で得ることができ, 来年度は新たなデータを使った研究成果を上げることが期待される。(文系教員)

研究者のワーク・ライフ・バランスに貢献

2-5. 研究支援員の声

【令和2年度 研究支援員の声(抜粋)】

- ・ 研究について知らないことをたくさん教えていただけたことがとてもよかった。(医系学生(3年生))
- ・ 学生実験前から同様の内容を体験できたことはとても助かった。多くの仕事を覚えるうちに始めはよく分かっていなかった各作業の意義を理解し、一連の流れとして見えるようになった。来年度からの研究室でも大いに役立つ経験だと思う。(理系学生(3年生))
- ・ 今回支援させて頂いたのは自身の研究と同じ分野であったが、異なる研究方法及び研究対象をとる先生の手伝いをさせて頂いたことで新たな学びや発見があった。(文系学生(D2生))
- ・ 研究支援員として働く緊張感がプラスに働き、従事内容に適正があると感じられたので研究職を目指す後押しになった。(理系学生(M2生))
- ・ 文献検索を行ったことで自身が論文を作成する時の視野が広がった。子育てをしながら仕事や研究をする姿に触れ、自身の進路についても考えるきっかけとなった。(医系支援員)

将来への学びや研究に関わる貴重な経験を獲得

ご清聴ありがとうございました

引用・参考資料

- 女性研究活動推進本部 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)事業 事務局. “2020(令和2)年度国際型ダイバーシティ研究環境実現プログラム成果報告書”. 文部科学省科学技術人材育成補助事業 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)「国際型ダイバーシティ研究環境実現プログラム」(事業名称) Career Advancement Project for Women Researchers (CAPWR). https://womenres.hiroshima-u.ac.jp/annual_reports/, (2021-11-25アクセス)
- 女性研究活動推進本部 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)事業 事務局. “2019年度国際型ダイバーシティ研究環境実現プログラム成果報告書”. 文部科学省科学技術人材育成補助事業 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)「国際型ダイバーシティ研究環境実現プログラム」(事業名称) Career Advancement Project for Women Researchers (CAPWR). https://womenres.hiroshima-u.ac.jp/annual_reports/, (2021-11-25アクセス)
- 女性研究活動推進本部 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)事業 事務局. “2018(平成30)年度国際型ダイバーシティ研究環境実現プログラム成果報告書”. 文部科学省科学技術人材育成補助事業 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)「国際型ダイバーシティ研究環境実現プログラム」(事業名称) Career Advancement Project for Women Researchers (CAPWR). https://womenres.hiroshima-u.ac.jp/annual_reports/, (2021-11-25アクセス)
- 女性研究活動推進本部 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)事業 事務局. “文部科学省科学技術人材育成補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型) 2017(平成29)年度成果報告書”. 文部科学省科学技術人材育成補助事業 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)「国際型ダイバーシティ研究環境実現プログラム」(事業名称) Career Advancement Project for Women Researchers (CAPWR). https://womenres.hiroshima-u.ac.jp/annual_reports/, (2021-11-25アクセス)
- 女性研究活動推進本部 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)事業 事務局. “令和3(2021)年度 研究支援員制度の利用申請について”. 文部科学省科学技術人材育成補助事業 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)「国際型ダイバーシティ研究環境実現プログラム」(事業名称) Career Advancement Project for Women Researchers (CAPWR). https://womenres.hiroshima-u.ac.jp/post_news/2063/, (2021-11-25アクセス)
- 広島大学男女共同参画推進室. “学童保育(広島大学子どもクラブ)について”. 広島大学. <https://www.hiroshima-u.ac.jp/gender/worklife/gakudo>, (2021-11-25アクセス).
- 広島大学. “広島大学子どもクラブ規則”. 広島大学規則集. 2020-04-01. https://education.joureikun.jp/hiroshima_univ/act/frame/frame110000550.htm, (2021-11-25アクセス)
- 広島大学男女共同参画推進室. “広島大学の男女共同参画2008～平成20年度成果報告書～.pdf”. 広島大学. <https://www.hiroshima-u.ac.jp/gender/torikumi/houkoku>, (2021-11-25アクセス)
- 広島大学男女共同参画推進室. “広島大学の男女共同参画2010 広大システム改革による女性研究者活躍促進 平成22年度成果報告書.pdf”. 広島大学. <https://www.hiroshima-u.ac.jp/gender/torikumi/houkoku>, (2021-11-25アクセス)
- 広島大学男女共同参画推進室. “広島大学の男女共同参画2011 広大システム改革による女性研究者活躍促進 平成23年度成果報告書.pdf”. 広島大学. <https://www.hiroshima-u.ac.jp/gender/torikumi/houkoku>, (2021-11-25アクセス)
- 広島大学男女共同参画推進室. “広島大学の男女共同参画2014 広大システム改革による女性研究者活躍促進 平成26年度成果報告書女性研究者研究活動支援事業(拠点型)平成25-26年度成果報告書.pdf”. 広島大学. <https://www.hiroshima-u.ac.jp/gender/torikumi/houkoku>, (2021-11-25アクセス)
- ものづくりプラザ. “令和3年度広島大学夏季学童保育の支援活動として「ガラスの模様付け体験」を実施しました”. 広島大学. 2021-08-17. <https://www.hiroshima-u.ac.jp/monoplaza/news/66097>, (2021-11-25アクセス)